



わたしたちの 大網白里市



【P23～24 解説シート】①

むかしの市のようにすをつたえるものに、どのようなものがあるのかな？

宮谷(みやざく)県庁(けんちょう)跡(あと) (本国寺(ほんごくじ)) ※千葉県指定文化財 (史跡)

1869年、武士(ぶし) (さむらい) の世の中が終わって、新しい世の中 (明治) になったとき、安房 (あわ)・上総(かずさ) (今の千葉県の南半分) をおさめるやくしよ (県庁) が大網の宮谷の本国寺(ほんごくじ)におかれました。宮谷県庁はその後2年間、政治(せいじ)の中心となりました。この間、「柴山典(しばやまてん)」「柴原和(しばはらやわら)」の2人の県令 (今の県知事) が活やくしました。

出典：大網白里市教育委員会「わたしたちの大網白里市」平成29年



青い文字をクリックすると該当ページにリンクしています。

【博物館】⇒【大網白里市の文化財】⇒[【宮谷県庁跡】](#)

【大網白里市を知る】⇒【歴史散歩道ウォーキングマップ】⇒[【県政発祥の地めぐり】](#)

【歴史学習のポイント】

寺社の名前や地名・人名は書いてある本やサイトによって漢字や読み方が違う場合があります。算数の計算のように答えがひとつではないのも面白いところ。時代背景や参考にした資料 (史料) によって変化します。